

取扱説明書 FM-F1



FreeMile
plus



取扱説明書
(電子ブック)

目次

1. 安全上のご注意	03
2. 製品の構成	06
3. はじめての開梱	06
4. 注意事項	06
5. 製品全体・パーツの説明	07
6. 各部の組立	08
ディスプレイの組立	08
ヘッドライトの組立	09
ウインカーの組立	09
ハンドルポールの組立	10
シートポールの固定・外し方	10
シートの組立	11
7. バッテリーの着脱と充電方法	12
8. ブレーキノイズ調整方法	13
9. 基本的なご使用方法・操作方法	13
10. メンテナンス方法・保管方法	15
11. 製品スペック	16
12. よくあるトラブル	17
13. 製品保証	18

弊社の電動スクーター（以下、スクーター）をご利用いただきありがとうございます。
取扱説明書（以下、本説明書）は安全に使用するための事項を含みます。

- ご使用の前に必ず本製品はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 取扱説明書は大切に保管し、必要なときにご利用ください。

電動スクーター（以下、スクーター）は交通規則に従って十分注意してご走行ください。

本説明書の事項に従い、正しい乗り方で走行いただく限り、事故や怪我のリスクを最小限に抑えることができます。スクーターが公道や他の公共の場所に入ると、本説明書に従ったとしても、予想外の規則や規制の違反または他者によって引き起こされるリスクにさらされるかもしれません。

走行中は警戒を続け、他者との距離にも注意をすることが重要です。なじみのない地域を走行するときは、できるだけ速度を落として運転しましょう。走行中は細心の注意を払い、走行してください。

スクーターは、本説明書の安全に関する事項に従ってください。

本説明書に記載されている、運転者の操作違反による利益相反の原因となる、財産、個人の損失、事故、法的紛争、およびその他のあらゆる有害事象に関して、当社は直接および共同の責任を負いません。

本製品は日本国内専用です。

1. 安全上のご注意

ご使用になるお客様や他の人が、安全にお使いいただくために重要な内容を記載しています。ご使用前に次の内容をよくお読みいただいた上、正しくお使いください。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明します。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される場合を示します。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定される場合を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■ 本体について



警告



禁止

- ご自分で分解や修理、改造したりしない。事故や故障の原因になります。
- 走行前は日常点検を行い、異常がある場合は、走行しない。
- 2人以上で乗らない。
本製品は一人乗り専用です。2人以上乗ると、製品が許容できる負荷を超え事故の原因になります。
- 本製品は移動用のモビリティです。本来の使用目的でない用途での使用（スポーツなど）はしない。事故の原因になります。
高所からのジャンプ、反転、またジャンプスタントなどにはご使用いただけません。



指示

- 体重と荷物の合計が 120kg 以上を超えないようにする。
- 組み立てるときはネジを指定トルクで確実に締め付ける。
走行中に緩むと大変危険です。
- 清掃時は電源アダプタを本体から取り外し、電源をオフにする。
感電や故障の原因になります。
- 部品やタイヤなどの消耗品は純正品を使用する。
その他の市販品を使用すると、事故の原因になります。

■ 走行中について



警告



禁止

- 冠水した道路や水の上を走行しない。
漏電して感電の原因になります。
- 急なハンドル操作、ブレーキ操作、アクセル操作はしない。
事故の原因になります。
- 走行中は、モーターやブレーキ部分に触れない。
けがややけどの原因になります。
- 以下の路面では走行しない。
・凍った路面 ・スリップの起きやすい道路、・砂利、ひび割れ、雨、雪、くぼみのある道路
転倒や事故の原因になります。



警告



禁止

- ハンドルに荷物などを引っ掛けて走行しない。
ハンドルをとられ、事故の原因になります。



指示

- 乗車時は必ず保護具（ヘルメット、膝パッド、手袋など）を着用する。
- 両手でハンドルを握る。
- 走行中に異音や異臭がしたり、異常な振動が起きた場合は、すぐに停止して電源を切り、部品の損傷や摩耗がないか確認する。
そのまま走行を続けると、事故の原因になります。
- 下り坂を走行する際は、時間をかけて徐々に減速をする。
長い下り坂を走行する際は、ブレーキを安定した状態に保つよう注意し、ブレーキの過熱が起きないようにご注意ください。

■ バッテリーについて



警告



禁止

- クギを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない。
発火・破裂の原因になります。
- バッテリーを本製品以外に使用しない。
発火・破裂の原因になります。
- 屋外で充電しない。
雨などに濡れると感電の原因になります。
- 濡らしたり、水に入れない。
バッテリーに水が入ると、発熱・発火の原因になります。
バッテリーに水が入った場合は、販売店などで点検を受けてください。
- 高温になる場所や熱がこもる場所で使用・充電・保管しない。
以下のような場所で使用・充電・保管すると、バッテリーが発熱・破裂することがあります。
・火気のそば・自動車のダッシュボードや炎天下の車内
・直射日光の当たる場所など
- バッテリーの液が漏れたときは、バッテリーや液に触れない。
けが・失明の原因になります。
バッテリーの液が体や衣服に付いたときは、きれいな水で十分に洗い流して、医師にご相談ください。
また、バッテリーの液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師の診断を受けてください。
- 充電中はカバーをしたり、上に物を置いたりしない。
内部が発熱し、火災の恐れがあります。
- 幼児やペットが触られるところに置かない。
事故や感電の原因になります。
- 端子を金属などでショートさせない。
感電、発火の原因になります。

■ 充電器について



警告



禁止

- 濡れた手で、プラグの抜き差しはしない。
感電の原因になります。
- コード・プラグを破損するようなことはしない。
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない。
傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードが傷んだり、差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない。
発熱・火災の原因になります。
- 付属の電源アダプタ以外で充電しない。
発熱・火災の原因になります。



指示

- 必ず交流 100V で使用する
- プラグは根元まで確実に差し込む。
感電の原因になります。
- プラグを抜くときは、コードを持たずに、必ず先端のプラグを持って引き抜く。
感電・発火の原因になります。
- 充電中に異音・異臭を感じたら、充電を中止する。
火災などの恐れがあります。プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグにほこりが付着しないように定期的に掃除する。
湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

2. 製品の構成



製品本体



サドル



サドルポール
カバー



本体・バッテリー
ボックス用各 2 本



工具類



充電器
(AC アダプター)



充電用ジャック
(取外し充電用)

3. はじめての開梱

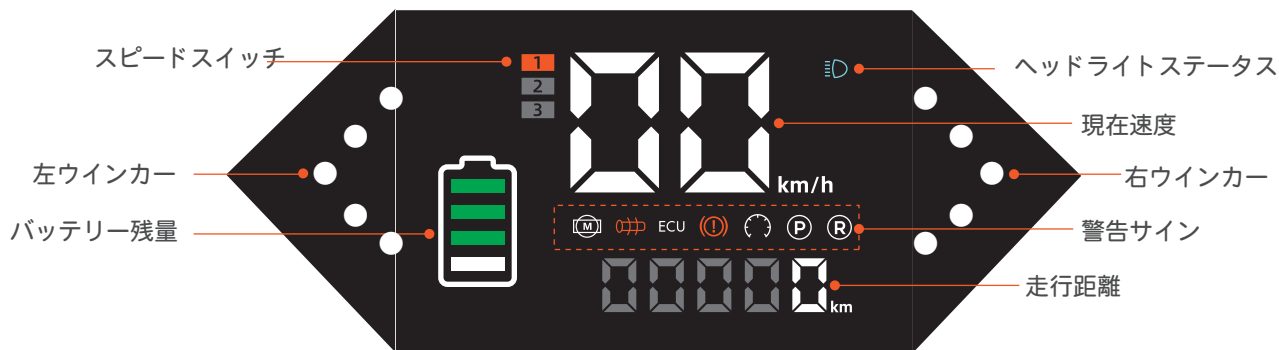
1. 開梱後、付属品に損傷や紛失がないか慎重に確認してください。
2. 製品を最初に使用するときは、折りたたみポールを開き、ポールが正常に折り畳めることをチェックした後、ネジとボルトが締められていることを確認します。
3. キーを鍵穴に挿入し、右に回し、ディスプレイパネルの電源がオンになっているかどうかを確認します。また、LED ライトやその他のライトが正常に作動するかどうか、ブレーキおよびアクセル機能がオンになっているかどうかを確認します。
4. 充電時は、充電用ケーブルと充電器のソケット間の接続が正常かどうかを確認します。
5. 初回乗車前には必ずバッテリーを完全に充電した状態にする必要があります（初回の充電時間は通常の充電時間よりも長くなる場合がございます）。
6. 製品の梱包（材）は捨てずに保管してください。修理メンテナンス時に必要となる場合がございます。
7. 走行中にブレーキが音を立てる場合、セルフメンテナンス（感度調整）を実行する必要があります。P13 をご覧いただくか、なるべくお近くのバイクショップや自転車ショップへ調整を依頼してください。

4. 注意事項

- 車内への浸水を防ぐために、雨に濡れないよう、保管場所にはご注意ください。
- 雨の日は、濡れた道路や小さな水たまりを避けてください。故障につながる可能性がありますのでできるだけ濡れない状況で走行、保管をお願いいたします。水濡れの場合は保証対象外です。

5. 製品全体・パーツの説明





(!) ブレーキセンサー作動 (通常のサイン)

1. 電源をオンにすると、累積走行距離が表示され、その後すぐに消えます。走行時に表示される距離数は、走行開始から電源を切るまでの走行距離です。電源OFFするとリセットされます。(異常ではありませんので、ご注意ください)
2. 警告サインが異常な場合は、カスタマーサービスまでお問い合わせください。(ブレーキ時のブレーキセンサーサイン、電源ON時のヘッドライトステータス)は異常ではありません)

6. 各部の組立

輸送中の損傷を防ぐために、製品の一部は組み立てられていません。使用前にマニュアルの組み立て手順に従って、部品を組み立てる必要があります。

◎ディスプレイの組立



① 4つのスクリューを抜きます



② スクリューを全て抜いた後のイメージ図



③ ディスプレイの穴同士を合わせた後、**ネジを電動ドライバーで固定してください。**製品使用時に緩むと非常に危険です。



④ ディスプレイのワイヤー (の矢印) と電源コード (の矢印) を接続します



警告

ネジは規定の締め付けトルクで確実に固定する。走行中に緩むと大変危険です。

締め付けトルク：3 N・m

◎ヘッドライトの組立

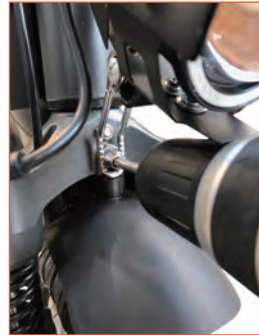
※納品時組立済



①図のようにヘッドライトとブラケットをねじ込みます



②本体側の上記ネジを外します



③外したネジを使用し、ヘッドライトと製品を固定します



④ヘッドランプコードを電源コードに接続します

##

◎ウインカーの組立



輸送時に折れないよう、外してあります。固定ホルダーにウインカーを通し、六角ナットとワッシャーを挟むように固定します。電源端子（の矢印）とウインカー端子（の矢印）をアタッチメント接続します。六角ナットを締めて、ウインカーを固定してください。締めすぎるとウインカー本体が芯棒から脱落しますので、10mm程度の締め付けが最適です。

##

◎ミラーの装着



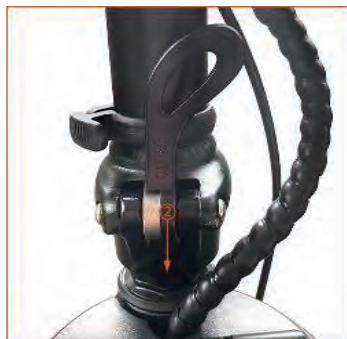
右側の装着位置に取り付けてください。緩い場合は乗車中に動く、又は外れることがないように、付属のスパナできつく締めてください。最終的に反対側に向いてしまった場合は、一旦定位置に戻し、上部の六角ネジを下げて、固定してください。ミラーの仕様変更により、図と異なる縦型の場合がございます。

##

◎ハンドルポールの折り畳み



①ロックキャッチを左側にスライドさせてください



②レバーを下へ下げてください

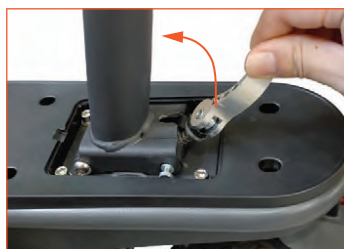


③ポールを折り畳むことができます

◎シートポールの固定



①折り畳みロックをつかみ、脇へ押し上げて、ロックを外します



②ポールを垂直に立てた後、折り畳み式ロックを支柱方向に留めます



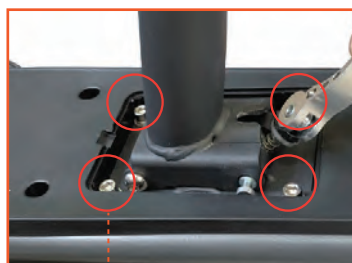
③図のようにロック方向を合わせた後、ロックを押し下げ、ポールを固定します



警告

シートポールが確実にロックされていることを確認する。
走行中にロックが外れると大変危険です。

◎シートポールの取り外し方法



4か所の六角ネジを外してください

立ち乗りされる場合は、
サドルポール（支柱）を外し、付属の蓋をしてください。

◎シートの組立



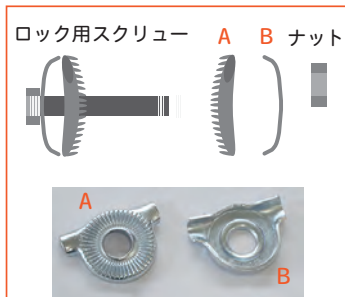
①シート両側のナットを開き、シートレバーを分離します
(イメージ図の青い部分は使用しません)



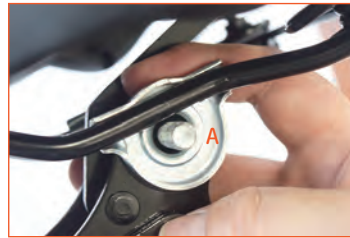
②分解後のイメージ図



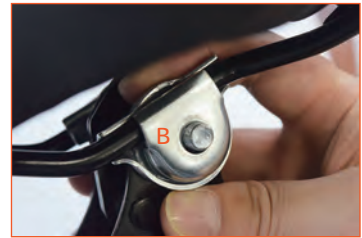
③レバーの長い部分は、シートの後ろに取り付け、レバーとシートを一緒に固定します



④手順①において分解した部品 A と B を使用して、シートを再度取り付けます



⑤部品 A を内側にセット後、ネジ穴を合わせて、ネジを固定します



⑥部品 A に部品 B で蓋をして、ナットで固定をし、反対側も同様に固定します

##



⑦上記図のように A と B が組み合わさっていることをご確認ください (必ず両サイド 2 つのナットを締めてください)



⑧折り畳み式ポールバックルを外し、再度ロックを締めてください



⑨組み立てたセンターポールをシートポールに固定してください

● 完成後のシートは必ず水平にセットされます (⑨参照) 前後どちらかにシートが折れた状態は、正しく組み立てられていませんので、再度お確かめください。

7. バッテリーの着脱と2つの充電方法

◎充電器を外してつなぐ (+専用ジャック使用)



①本体のバッテリーカバーをロック / 開けるには、専用のキーを使用します (ロック時は指で押さえます)



②バッテリーカバーのリングを引っ張り、持ち上げます



③ハンドルキーの電源がOFFになっていることを確認し、プラグを外して、バッテリーを取り出します



④バッテリーの上部ハンドルをつかみ、持ち上げます



⑤バッテリーの差し込み口に付属の専用ジャックを使い、充電を開始してください

【充電器のランプ】
(ACアダプター)
充電中 - 赤ランプ
充電終了 - 青ランプ

●充電中に充電器 (AC アダプター) が熱くなる場合がございます。

◎本体から直接つなぐ



警告

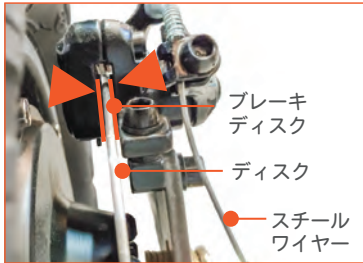
充電は必ず屋内で行ってください。
雨などに濡れると感電の恐れがあります。

●バッテリーの充電用差し込みに充電ケーブルを接続してから、電源プラグをコンセントに差し込みます。取り外し時は、まずは電源プラグをコンセントから外し、次に電源コードをバッテリー充電用差し込みから外してください。

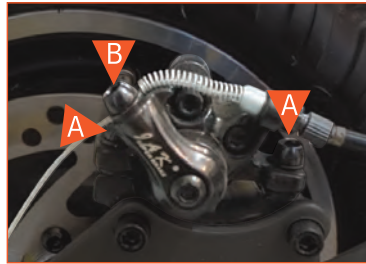
●充電終了後にコンセントを差し込んだまま、充電器 (AC アダプター) を長時間放置しないよう、ご注意ください。

8. ブレーキノイズの調整方法

ブレーキは製品の中核の担う重要な部分ですので、なるべく専門家・お近くのバイクショップ・自転車修理店に依頼してください。



①上記の全体部品構造をご確認ください



②ワイヤーを引いて緩め、ボルト A を緩めてボルト A 下部のワッシャーを調節し、ボルト B を緩めてボルト B 下部のワッシャーを調節します。調節後、ワイヤーをゆっくり元通りに張っていきます



③別の方法として、キャリパーを分解し、5mm 六角レンチで背面のネジを緩めて、パッド間の距離を調節することも可能です

9. 基本のご使用方法

◎乗車前の日常点検

●乗車前に以下の日常点検を必ず行ってください。

1. 緩みの点検：
ボルトとナットが緩んでいないか確認してください。ボルトやネットが緩い場合は、直ちにきつく締めてください。
2. ブレーキの確認：
電源を入れた状態でブレーキの動作状態と減速時に異常がないか確認します。
3. 速度メーターとアクセルレバーの確認：
アクセルレバーを引いたときに、モーターが正常に駆動しているかどうかを確認します。
4. 左右のハンドルの確認：
両側のハンドルを両手で持ち、前後に揺れないことを確認します。
5. 折りたたみ式ポールのバックルの確認：
バックルがロックされていることを確認し、バックル周辺のボルトとナットが緩んでいないことを確認します。
6. 充電状態を確認：
充電が必要なことを示す赤いライトが点灯しないかを確認します。乗車終了後は、毎回速やかに充電してください。

7. 前後タイヤを確認：
以下を確認します。
- ・適切な空気圧（206kPa、2.1kgf/cm²）になっていること
 - ・亀裂や損傷がないこと
 - ・異物が刺さっていないこと
 - ・溝が十分に残っていて、異常な摩耗をしていないこと
8. ライト類の点検：
前後ウインカー、ブレーキランプ、ウインカーが正常に点灯するか、確認します。

◎操作方法

電源キーを挿入し、右へ回して電源をONします。ディスプレイが点灯し、安定状態に入ったら、フットスタンドに足を乗せ、立った（または座った）状態から、アクセルレバーをゆっくり回して走行を開始します。

スピード切替（各最高速度） **1**—13km/h **2**—30km/h **3**—45km/h

※慣れるまで、3での走行はお控えください

※切替は、必ず停車時に行ってください

※耐荷重や路面状態や角度により、スピードは前後します

●走行中の急ブレーキは危険ですので、お止めください。
急な下り坂、長い下り坂、滑りやすい路面の各ブレーキの際には、滑り始めたら少し緩めて再び踏み込む動作を繰り返す（＝ポンピングブレーキ）で停止させてください。

●アクセル稼働中（走行中）はバッテリーメモリが減りますが、故障ではありません

10. メンテナンス方法・保管方法

◎バッテリーのメンテナンス

●バッテリーの寿命を最大限に延ばしたい場合は、正しい使い方をしてください。

バッテリーは走行後に速やかに完全に充電をしてください。バッテリー残量を消耗する前に再充電することが、バッテリーの寿命を延ばすことに繋がります。

バッテリー残量の5段階表示のゲージが1または2しか表示されていない場合は、できるだけ早く充電を開始してください。頻繁に充電してもバッテリーの寿命は損なわれませんが、バッテリーの残量が少ない状態でキックスクーターを動作する場合は、バッテリーの寿命に影響が出ます。

1. 毎回の充電時にはバッテリーを完全に充電してください。完全に充電されていない状態での頻繁な使用や、長期間使用しなかった場合、バッテリーの寿命や充電に支障が出る場合がございます。
2. 夏や直射日光の多い環境下でバッテリーを長時間外にさらすと、車体の温度が上昇し、バッテリーが損傷する場合があります。高温になる自動車内等にバッテリーを放置した場合も同様に影響します。日陰の涼しく乾燥した場所にバッテリーを保管してください。
3. 安全のために雨天時の走行は避けてください。止むを得ず雨や濡れた路面の走行時には、バッテリーカバーを開いて、内部の余分な水を必ず拭き取ってください。(お客様のご使用方法の原因によりバッテリーに損傷が出た場合は、保証の対象外となります。)
4. 製品が浸水した場合は、電源を入れたり充電したりしないでください。必ずバッテリーカバーを開いてバッテリーを乾燥させてください。
5. **長期で使用しない場合は、必ずフル充電にした状態で保管してください。**電池残量が少ないバッテリーで放置した場合、約10~20日間程度を過ぎたら、電源をONにすることができず、バッテリーの寿命に影響します。

◎保管方法とクリーニング

保管場所は、屋根のある駐車場、もしくは屋内でお願いします。雨に濡れる場所での保管は絶対にお止めください。完全防水仕様車ではございません。陽の当たらない乾燥した場所での保管が最適です。最高の性能を維持するために使用後すぐにキックスクーターをきれいにしてください。キックスクーターの汚れは、少量の清水に浸し、固く絞った布で拭いてください。

スクーターを清掃するときは、電源がOFFの状態を確認してください。感電や重大な故障の原因になります。キックスクーターを自動車洗車用の機器で直接洗い流したり浸したりしないでください。キックスクーター内に水蒸気や水がたまって修理できない重大な故障につながる可能性があります。キックスクーター本体の清掃にアルコール、ガソリン、灯油、アセトン、その他の化学剤を使用しないでください。キックスクーターの外観および内部構造に回復不能な損傷を与える可能性があります。

11. 製品スペック

モデル型式	FM-F1
サイズ L×W×H (折り畳み時 H) cm	112×55×113(60)
耐荷重	120kg
パワー	500W
最高時速	45km/h
ギアチェンジ切替	3段階／15－30－45
アクセル	グリップスロットルアクセル
ブレーキ	前輪：ディスクブレーキ 後輪：ディスクブレーキ (自転車と同じレバー操作)
タイヤサイズ	10インチ (25.4cm)
最大航続距離	40km
最大上昇角度	20度
バッテリー	リチウムイオン 48V 10Ah
バッテリー着脱	可
充電時間	5-6時間
重さ	約30kg
走行時適温気度	-8～40℃
IP規格 (防水レベル)	IP54
その他	イグニッションキー付 サドル (椅子) 標準付属

▶上記の値は、フル充電、積載量 65kg、温度約 25℃、平坦な道路、風のない環境、走行速度 15km / h の条件下で測定されたものです。実際の電池寿命は、負荷、温度、風速、道路状況、および運転習慣などの要因によって異なります。

12. よくあるトラブル

状況	原因及び解決策
電源が見つからない	1、バッテリーの充電が足りているかご確認ください
最大走行距離が減った	1、急発進や急停止が多い場合は正常な走行を維持してください。
	2、タイヤのパンク、空気の量をご確認ください。
	3、常にフル充電の状態から走行してください。
	4、電池の寿命が考えられる場合は、バッテリーの交換をおすすめします。
	5、路面の温度や外気温が影響しますので、適温範囲内で走行してください。
バッテリーが充電されない	1、充電コードの差込口を点検して、正常に繋がれているかご確認ください。
	2、充電器単体でコンセントに差し込んだ際、緑色のランプが点灯しない場合は、充電器の故障が考えられますので、お問合せください。
	3、最大航続距離に到達した場合や適温範囲外での走行により、バッテリーの温度が極端に高くなっている場合は、冷ましてから充電してください。
タイヤがパンクした	1、お近くの自転車ショップやバイクショップにお尋ねください。損傷が激しい場合は、タイヤの販売をさせていただきます。
エラーコードが出る	1、一度電源の入り切りと充電をお試しの上、ご連絡をお願いします。詳細なエラーコードや状態をお知らせ頂きたい為、動画などのご準備が可能でしたら、お願いいたします。
雨で濡れてしまった	1、速やかに本体を拭いて水分を取り除き、バッテリーケースに水が溜まらないよう、確認してください。

13. 製品保証

◎ 保証期間

- 保証は、当社より商品を受け取ってから6ヶ月間効力を生じます。
- 本製品を受け取った日から5日以内に、意図的につけられた以外の損傷や性能障害が発生した場合、初期不良として交換または修理を承ります。ただし、ナンバー登録後は、修理対応となります。
- 本製品が保証期間内に正常な使用状態で故障した場合、以下のパーツを6ヶ月間の無償修理にて交換対応致します。

保証対象 パーツ名	モーター、コントローラー、ディスクブレーキ、折り畳み式ハンドルポール、ブレーキレバー、グリップアクセル、テールランプ及びナンバー灯、フロントランプ、反射板、ウインカー（断線を除く）、メーター、ACアダプター、バッテリー
--------------	---

※本製品の外装部品がすべて取り外し可能な設計になっています。そのため、破損・故障の際には、該当パーツのみをご送付いただければ、交換用の部品を発送させていただきます。車体をお送り頂く必要はございません。

◎保証対象外

- 保証期間が過ぎた製品、又は保証期間内での走行距離が1,000kmを超えた製品
- 洪水、地震、台風、土砂崩れなどの自然災害や不可抗力による被害
- 自主メンテナンスや取扱説明書に違反した調整を行ったことによる破損
- 浸水や塩害等による外的要因による誤動作や損傷
- 分解、改造による故障
- 過負荷、障害物への乗り上げ（段差を含む）、転倒、極端なスポーツなど、通常の動作状態で使用されていない場合に生じた誤動作や損傷
- 本製品の設計、製造、品質と関係しないその他一切の破損。
- 当社及び正規販売代理店以外の中古販売業者、個人売買により購入・譲渡された製品の破損、故障
- 他製品を接続したことによる故障、動作保証を行っていない機器やケーブルを接続したことによる故障
- 砂地、砂利道等の舗装のされていない道路を長期間走行したことによって発生した部品の不良、故障、部品の損傷
- 経年劣化や使用環境によって発生する不具合（塗装面の剥がれ、メッキ部のサビ、その他塩害など）
- 使用環境、使用状態、保管状態によって左右される走行に問題を生じさせない現象（音、振動、バッテリー充電容量の低下など）
- 保証期間内において、故障の症状を当社で確認出来なかった場合の点検料

◎ 注意事項

- 初期不良についての送料は、弊社の負担とさせていただきます。
- 修理品の送料は、往復ともお客様のご負担とさせていただきます。
- 出張修理は行っておりません。
- 当社にて修理を行い、修理代金が発生した場合は、お支払いを確認してからご返送させていただきます。修理を行わない場合でも、送料は別途申し受けます。
- 保証規定内及び保証対象外を問わず、修理または交換された本体や部品などは返却いたしません。
- 本件製品が使用できないことによって発生した損失、費用はいかなる場合においても当社は一切責任を負いません。



Qreative Japan

クリエイティブジャパン株式会社

〒150-0022

東京都渋谷区恵比寿南3-1-24 齊信ビル7F

Tel:03-6409-6855 Fax:03-6409-6856

✉ support@freemile.jp (アフターサービス)

info@freemile.jp (購入前のご相談)